

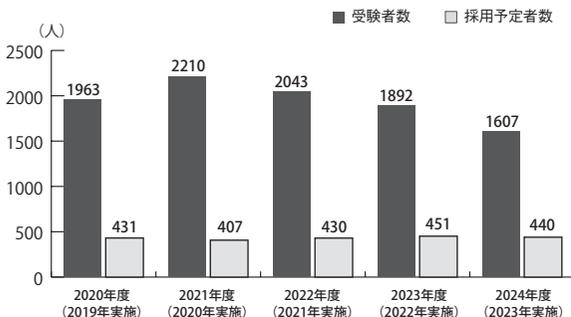


# 岡山県

面積	7,115 km <sup>2</sup>
人口	1,832,994人
県の花	モモの花
県の木	アカマツ
県の鳥	キジ

<b>求める教員像</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>岡山県の教育課題を深く理解し、果敢に立ち向かうことのできる教員</li> <li>強い使命感と情熱、高い倫理観、豊かな教育的愛情を持った教員</li> <li>多様な経験を積む中で協働して課題解決に当たるなど、生涯にわたって学び続ける教員</li> </ul>
<b>出願期間</b>	公開日 4月15日(月) 電子申請 4月15日(月)～5月14日(火) 17:00
<b>試験日程</b>	1次試験 試験日 筆記試験：7月6日(土) 面接試験：7月7日(日)・13日(土)・14日(日)の指定した日 合格発表日 8月7日(水) 2次試験 試験日 8月17日(土)～21日(水)・24日(土)の指定した2～3日 合格発表日 10月4日(金)
<b>年齢制限</b>	昭和40年4月2日以降に生まれた者
<b>募集教科</b>	【小】 【中】国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語 【高】国語、地理歴史(世界史、日本史、地理)、公民、数学、理科(物理、化学、生物)、保健体育、芸術(音楽、美術、書道)、英語、家庭、農業、工業(機械、電気(電子・情報系を含む)、化学、土木、建築、特D①(専門分野は限定しない))、商業、看護 【特】 【養】 【栄】
<b>特記事項</b>	■特別選考 A①英語の資格による特別選考(グローバル人材) [中・高] 英語志願者で、規定の英語資格所有者は、1次の筆記を免除し、特別面接を実施。A②英語を母語とする者を対象とした特別選考(グローバル人材) [小(英語専科)] [中・高] 英語志願者で、規定の要件を満たす者は、1次の筆記を免除し、特別面接を実施。2次は個人面接と模擬授業のみ。Bスポーツの実績による特別選考 [中・高] 保健体育志願者で、規定の要件を満たす者は、1次の筆記を免除し、特別面接を実施。C①講師経験者を対象とした特別選考(前年度1次合格者) 規定の要件を満たす者は、1次を免除。C②講師経験者を対象とした特別選考(経験年数) 規定の要件を満たす者は、1次の教職を免除。D①民間等のキャリアによる特別選考([高]工業) 規定の要件を満たす者は、1次の筆記を免除し、特別面接を実施。D②民間等のキャリアによる特別選考([高]看護) 規定の要件を満たす者は、1次の筆記を免除し、特別面接を実施。D③民間等のキャリアによる特別選考([高]農業) 規定の要件を満たす者は、1次の筆記を免除し、特別面接を実施。D④民間等のキャリアによる特別選考([中・高]英語) 規定の要件を満たす者は、1次の筆記を免除し、特別面接を実施。E①教職経験者を対象とした特別選考(本県教職経験者) 規定の要件を満たす者は、1次を免除。2次は特別面接と口頭試問のみ。E②教職経験者を対象とした特別選考(現職教員) 規定の要件を満たす者は、1次を免除。2次は特別面接と口頭試問のみ。F「教師への道」研修修了者を対象とした特別選考 規定の要件を満たす者は、1次の面接を免除。G「理数系教員養成拠点構築プログラム」修了者を対象とした特別選考 [小] [中] 理科志願者で、規定の要件を満たす者は、1次を免除。■身体に障害のある者を対象とした選考

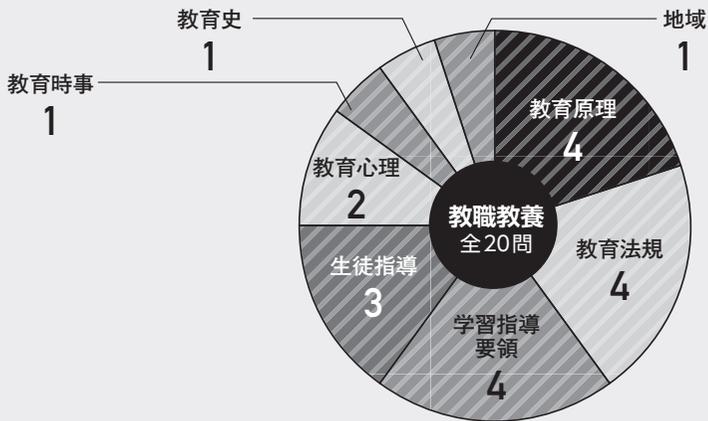
### ▼受験者数等推移



### ▼令和4年度 問題行動調査でのいじめの認知件数と不登校児童・生徒数

	小学校	中学校	高等学校
いじめ(件)	4,151	1,839	639
不登校(人)	1,389	2,279	1,034

## 2025年度(2024年実施) 筆記試験DATA



\*「地域」には「教育時事」も含まれる。

- ▶ 学習指導要領は総則
- ▶ 教育時事で頻出のご当地問題
- ▶ 教育法規は教育基本法

**学習指導要領**では、頻出の総則から「小(中)学校教育の基本と教育課程の役割」と「学校運営上の留意事項」が出題された。このほか、前文や学習指導要領解説総則編も出題されている。

**教育原理**(特別支援教育, 人権教育, 学習指導法, キャリア教育等)のうち、特別支援教育では「通常の学級に在籍する障害のある児童生徒への支援に係る方策について(通知)」(2023年)と「障害のある児童生徒等に対する早期からの一貫した支援について(通知)」(2013年)が出題された。人権教育では「人権教育を取り巻く諸情勢について」(2021年)から「I. 学校における人権教育の推進」の理解を問う問題が出題された。学習指導法では、完全習得学習やプロジェクト・メソッド, 有意味受容学習と関連の深い人物の組合せ問題が出題された。キャリア教育では「小学校キャリア教育の手引き」(2022年)等が出題された。

**生徒指導**では「生徒指導提要」(2022年)から「第1章 生徒指導の基礎」が出題された。また、「性同一

性障害に係る児童生徒に対するきめ細かな対応の実施等について」(2015年)も出題された。

**教育時事**では、頻出のご当地問題から「データがしめす教育行政施策の推進状況」(2023年)が出題された。国レベルでは「OECD生徒の学習到達度調査2022年調査(PISA2022)」(2022年)等が出題されている。

**教育法規**では、頻出の教育基本法から第9条が出題された。このほか、学校保健安全法や地方公務員法, 教育公務員特例法, いじめ防止対策推進法も出題されている。

**教育心理**ではさまざまな領域から出題されており、今年度は学習理論(バンデューラ, トールマン, ケーラー)の理解を問う問題や、心理療法(構成的グループ・エンカウンター, ソーシャルスキルトレーニング等)に関する問題がみられた。重要人物・理論を押さえることが必要である。

**教育史**では、日本教育史から明治~昭和時代の教育制度史に関する問題が出題された。